

中庭にはコア始まって以来の数の人々が集まった。(左) おもちを丸めるのは初めて? (上)

「おいしい!」いい笑顔だね (下)

1月11日(土)、よく晴れた空の下、ベイタウン・コアの中庭でもちつき大会が行われていました。青少年健全育成委員会主催によるもちつき大会も今回で3回目。会場を中学校からコアに移して、参加者も1000人余が見込まれているとのこと。

水につけて180キロになる餅米を6つの臼に分けて、それぞれ6回ずつつく予定。つきあがった餅を丸めて、海苔、小豆、きな粉をつけて食べるまでを参加者が一緒になって行います。

「このもちつき大会は餅を食べるのが目的ではなく、親子でもちつきを体験してもらうのが目的です。ですから、私たちがオーバーアシストにならないように気をつけています」(会長の君島研二郎さん)

受付開始の30分前の10時30分になると、うらかなもちつき日和に誘われて参加者が集まり始めました。前もって参加申し込みをしていた小中学生を中心に、小さな子どもを連れた親子連れや孫の手を引いた年配の方の姿も見られます。臼を囲んで人の輪ができ、お父さんやお母さん、子どもたちの慣れないながらも一生懸命杵を振り上げる様子にあちこちで歓声があがり始めました。その中でも一際にごやかなグループが渡辺冬花先生に率いられた打瀬中陸上部の面々。きょうは8時30分からの練習をこのもちつきの時間に合わせて切り上げて来たと言気込みは十分。

「毎年参加しています。生徒が一人ずつ今年目標を叫びながら餅をつくんですよ」

杵の重さに戸惑いながらも、「全国大会に行くぞ〜」「幅跳びを4メートル跳ぶぞ〜」といった威勢のいい声に混じって、「〇〇には負けなぞ〜」といったチームメイト打倒の声もあがり、その都度笑い声が起っていました。

レクリエーション部長として今回のもちつき大会を担当した鎌形亨さんは、「前回の参加者は400人、今回は倍以上の人数になるので準備も大変でしたが、今年はPTAの方たちのサポートがあり、地域と学校が力を合わせてつくることができました」と会場を飛び回る合間をぬって答えてくれました。餅をつく人、ひっくり返す人、米を蒸す人…誰の顔にも汗が光り、笑顔が光っていました。ご苦労様でした。
【佐藤】



「もっと大きな声を出して!」渡辺先生の声飛び (左)



もちつき大会



お父さんたちも頑張る(上) 和太鼓や獅子舞などのアトラクションがもちつき大会を盛り上げる(左)

「交通問題を考える(2)」

12月開催の『交通問題を考える(1)』に引き続き、「道路計画の話から街のそれぞれの地区の性格を再確認しながら、道路ごとにどのような解決策が望ましいのかを検討する」をテーマに、交通問題の第2回フォーラムが開催された。【板東】

今回は、街のデザインのときに、どういう想定で道路が計画されたのかを、街創りのときに企業庁へのコンサルタント的な立場で参画し、現在は6番街に住む住民とい



う、いわば裏も表も知る頼もしい存在である街づくり研究会の石橋さんから解説してもらうところから始まった。

やや見にくくて申し訳ないが、左下の図がその全容となる。ベイタウン内の道路には、①都市計画道路(ベイタウンを十字に貫くメッセ大通りと富士見通り)②メイン道路(白帆通り、打瀬東西南北通り)③サブ道路(プロムナードおよび名前の付かない道路)の3種類があり、都市計画道路・メイン道路とサブ道路では、歩道と車道の段差の有無、舗装(片やアスファルト、片やインターロッキングなど)、道路幅などで明確に区別されているようだ。そして、特に明文化はされていないが、サブ道路はどちらかと言うと「歩・車共存」の広場的な使い方を想定しているとのことだ。

また、ベイタウンの道路は、他の街と比べて道路幅に余裕がある(最低でも16m)が、何故かと言えばベイタウンの建物には「裏表」がないため、法律上の規制(日照時間4時間以上)をクリアするためには、道路幅を確保する必要があった、という背景も聞くことができた。



立っているのが石橋さん。右は司会の佐藤さん

計画側としては、広い道路幅と街並み全体の景観を活かすために、デザイン的なハンプ(段差や色分けによる視覚効果)や植栽などで工夫はしたが、広いが故に心理的障害が低くなり、路上駐車や速度超過を誘発してしまっているのが実態と言えそうだ。

これらの予備知識を元に討論が進められたが、「計画と実際にギャップが生じていることが認識できた。今後は、そのギャップを良く知る住民自身が計画者・管理者にフィードバックして、また『こうしたい』という意思表示をして、是正していくことが必要」ということが今回のフォーラムの結論と言えよう。また、最終的にどう住民の意見をまとめ、実行に移すのかが難しい点であることも再認識された(注:「街」という視点では、住民だけでなく、商店の人も、またこの街に働きに来る人も含まれる)。

次回(2月23日予定)以降、少人数での問題検討などのワークショップも含めながら、住民の意見をまとめていくこととなる。関心のある人は奮って参加されたい。

交通問題アンケート結果速報

1月号はさみ込みの「まくはりベイタウンニュース『新春アンケート』」に締め切り翌日の1月19日現在で143通の回答を得た。今回は結果速報として、どんな声があるのかを設問ごとに大まかに紹介する。結果詳細は3月号はさみ込みでお届けする。【茂木】

＜結果のあらまし＞ ※()内は回答数

- Q1. ベイタウンでいま「交通問題」を討議しているのをご存知ですか?
「知らない」(2)「今月号の記事で知った」(27)「知っている」(112)「無回答」(2)
- Q2. あなたはベイタウンで「交通問題」を感じるがありますか?
「感じることはない」(2)「感じる時がある」(141)
- Q3. あなたはベイタウンの交通ルールを変える必要を感じますか?
「わからない」(6)「感じない」(6)「感じる」(131)
- Q4. あなたの想定する「新しいルール」を徹底するにはどうすればいいと思いますか?
<自由回答/略>
- Q5. 自治会連合会で想定する「駐車禁止」と「時速制限」をどう思いますか?

- 「わからない」(1)「ともに支持しない」(8)「ともに支持する」(105)『「駐車禁止」は支持する」(8)『「時速制限」は支持する」(20)「無回答」(1)
- Q6. ベイタウンの交通事情でふだんお感じになっていることをご自由にお書きください。
<自由回答/略>
- F1. 性別は?
「男」(94)「女」(50)
※「男+女」の回答1件含む
- F2. 年齢は?
「10代」(0)「20代」(2)「30代」(49)「40代」(43)「50代」(25)「60代〜」(25)
※「30代+40代」の回答1件含む
- F3. 自動車は?(ご家庭に)
「ある」(125)「ない」(18)

●「交通問題」は、なにがどう問題?

路上駐車が多さと、交差点などで減速しない車のいることを指摘する声が目立つ。

路上駐車で問題視するのは、車庫代わりの長時間駐車や、交差点・駐車場出入口近くでの駐車など、いまでも取り締まり対象のものに限る見方もあれば、それ以外の駐車も問題視する見方もある。どちらにしても、駐車料金を負担していない点で不正を、道幅を狭くしたり見通しを妨げたりしている点で危険性を訴える。なかには、街並みの美しさを損ねるとの景観面からの訴えもある。

一方で、一時利用や大型車を想定した駐車場の不足こそ問題で、その解決こそ優先との見方もあ

る。路上駐車容認派からは、道幅の狭さを指摘する声も出ている。

減速しない車は、運転者からも歩行者からも問題指摘を受けている。「交差点で一時停止を無視する」「横断歩道なのに安心して渡れない」と。走行スピードに対する見方は分かれていて、「すれ違うとき譲ろうとしない」と問題視する声が出ている一方で、「良識あるスピード」ととりわけ問題視しない声も聞かれる。

減速しない問題は、バイク・自転車や歩行者にも当てはまる。歩行者からは、歩道を走るバイク・自転車の危険性を訴える声も、運転者からは、路上に飛び出してくる歩行者の危険性を訴える声も

出ている。なかには、交通量の少なかったころの習慣が抜けず、うっかり信号を無視して道路を渡ってしまう、との歩行者からの自戒もみられる。

このほか、交通事故の多さを「交通問題」としてあげる回答も複数みられる。

●自治会連合会の想定する案に対して

「駐車禁止」「時速制限」のうち一方だけを支持する回答者には、他方を支持しない理由を聞いた。「駐車禁止」を支持しないのは、「住みよい街にならない」との理由から。車を使わざるを得ない居住者もいるし、店舗や病院を利用するとき駐車できないのは不便との言い分だ。ただし、連合会という「駐車禁止」はあくまで「原則」で「例外」も想定している。これらの理由は必ずしも「不支持」とは言えない。

一方で、「例外」を想定している点をむしろ疑問視する声も出ている。実効性の観点から、仮に「1時間以内は駐車可」とする場合なら、だれがその1時間を管理するのか、と問うものだ。「禁止」を掲げているだけに、だれがそれをやれるのか、に疑問を示す。

このほか、「いまの取り締まり対象でいい」「駐車場整備が先決」「ルールは原則自由から議論を」との声もある。

「時速制限」を支持しないのは、問題認識に差があるのと実効性に疑問があるから。すでにふれたように、走行速度は「良識」内との見方もある。取り締まるにしても、「術(すべ)がない」との声も出ている。「標識を増やしたくない」との意見もみられる。

「一律」の制限に疑問を示す声もある。道路にはそれぞれ格があるので、それに応じた制限にすべき、との考え方も。



ことしも開かれたベイタウン ニュースサポーター新年会

ニュースサポーターってどんなひと？ どん
なお手伝いをしているの？ 新年会って？

毎月第一土曜日の朝、コアの講習室に集
合し、刷り上がったばかりでインクの臭い
の残るほかほかのベイタウンニュースに街
のお知らせやチラシを挟み込み（ついでに
月に一回の楽しいおしゃべりもして）、ベイ
タウンの全戸にニュースをポストン
しているボランティアのひとたち。それが「ベ
イタウンニュースサポーター」です。

今年最初の配布会はコアの新年早々の開
館日1月4日でした。下はお母さんに連れ
られた幼稚園児から上は70代とおぼしきシ
ルバーまで、老若男女さまざまな人たちが
集まり、おしゃべりしながらチラシを挟み
込んでいきます。挟み込みには「ベイタウン・
ジュニアタイムズ」の小学生も参加してい
ます。小学生グループは手慣れたもので、流
れ作業で大人の3倍くらいのスピードで挟
み込み、これにはびっくりです。作業の早
いグループは遅いグループを手伝って、和
気あいあいとおしゃべりを楽しみながら仕
事を片づけていきます。

ここまでは毎月の配布会の光景。でもこの
日だけはちょっと特別なイベントが…。恒
例となった『サポーター新年会』が計画さ
れていたのです。さあ、昨日までの曇り空

からは考えられないほどいい天気になった、
お正月の中庭に全員移動です。コア中庭に
は洒落た丸テーブルも用意されていました。

調理室では挟み込みスタートと同時に韓
国流お雑煮作りが並行して進められていま
す。これは編集局の金記者が手料理で作っ
たもの。チキンスープにお米で作ったお餅、
野菜が入っています。他の編集員の方の話
では彼は韓国料理の名人
とのこと。仕上げには
韓国のりとごまを散ら
してできあがり。ち
ちらの大鍋も中庭に移動
です。

飲み物、お菓子、お
つまみ、本格派キムチ
なども用意され、おし
ゃべりの輪がたくさん
出来ました。特に韓国
風お雑煮は美味しくっ
て、ぽかぽか温まり、「お
かわり」の大合唱でし
た。普段なかなか接す
る機会のない世代の方
達とおしゃべりは楽

しいものです。みなさん、大いに食べ、語
りました。

そしてスタッフ企画のビンゴ大会がスタ
ートすると子供たちは大喜び。賞品は、ベ
イタウンニュースに広告を掲載するスポンサ
ー提供のカレンダーやポロシャツなど豪華。
賞品の点数が多かったので全員にいきわた
り、大満足の新年会となりました。

【北村直子 (P21 番街)】

『ベイタウンニュースサポーター』を募集
しています。ベイタウンの幅広い年代のユ
ニークな方々とお知り合いになれます。是非
お仲間！ 毎月第一土曜日の朝 10:00、コ
ア講習室での配布会へのご参加、お待ちし
ております。飛び入り参加も歓迎です。



MAKUHARI Bay Town CORE

公民館から TEL.296-5100

★申し込み：電話または直接、公民館にお
申込みください。受講料無料、実費のみ。

「ビーズで作るコサージュ」

2/20・27 (木)

■ 10:00～12:00

■ 定員：20人 (抽選)

■ 受付は2/5から。見本が公民館においてあり
ますのでご覧ください。



美浜区家庭教育講座「親であることが楽になる」

■ 対象：幼・小・中学校の保護者 ■ 定員：25人 (先着)

■ 受付は2/5から。

□ 2/21 (金) 13:30～「親とは…」完璧な親なんていません。親
としてどのようなことに気をつけたらよいのか。

□ 2/28 (金) 13:30～「こどもに寄り添う」親も人間。きちんとメ
ッセージを送り続け、こどもの言葉に耳を傾ける訓練を。

□ 3/7 (金) 13:30～「親と子」新しい親子関係を築こう。

知って安心、健康講座

「心臓・脳・腹部に関連した救急医療」

2/8 (土) 14:30～16:30

■ 定員：50人 (先着) ■ 受付随時 (9:00～17:00)

中高生のための楽しいクッキング～ひなまつり

2/22 (土) 10:00～

■ 定員：16人 (先着)

■ 受付随時 (9:00～17:00)

公民館定期利用希望サークル受付開始

平成15年4月から公民館の定期利用を希望する団体の受付をい
たします。

折り込みの別紙「公民館施設の貸出の手引き」をよくお読みの上、
公民館所定の公民館サークル届出書にご記入いただき提出してくだ
さい。同じ時間帯になった場合は、調整のため公民館に来ていただ
くことがあります。

1. 「公民館サークル届出書」配布期間：2/1～2/8 9:00～17:00
2. 提出期間：2/4～2/18 9:00～17:00
3. 調整：同曜日・時間帯希望の団体が複数の場合、抽選となります。
4. 利用の可否についての通知：公民館運営懇談会を経て、2/28まで
にハガキで通知。
5. 公民館利用申請の受付：定期利用（毎月申請が必要）を含め、4月
の利用受付は3/1から。「千葉市公民館使用許可申請書」にて手続き
をしてください。

※期間内に提出のないサークルは4月以降は空き状況をご覧の上、
ご利用いただくこととなります。

春を呼ぶコンサート 2003

○ 日時 2003年3月2日 (日) 開演 16:00～17:30

○ 場所 幕張ベイタウン・コア音楽ホ
ール

○ 主催 日本音楽家ユニオン・ニューフィ
ルハーモニーオーケストラ千葉、「春を
呼ぶコンサート」実行委員会

○ 内容 ピアノを含む室内楽の生演奏

○ 出演 ニューフィルハーモニーオーケ
ストラ千葉のメンバー及びゲスト

○ 料金 1,500円 (2月よりベイタウン店舗他で発売)



B

-

I

n

f

o

r

m

a

t

i

o

n

ツインズ・ファミリー みんなで集まろう。

ベイタウンに住む双子ちゃん、三つ子ちゃんファミリーのみなさん！ 育児など忙しい毎日のちょっとした合間に、同じ経験をしている人たちと気軽に話しをしませんか？ 下記のとおり、一度みんなで集まる会を催します。ぜひ、足をお運びください。

日時： 2月23日（日）午前10時～12時

場所： コミュニティコア 工芸室

参加： ①いま双子、三つ子以上を子育てしている方
②その出産をひかえている方
③ご自身が双子の方も、大歓迎

内容： 日ごろ感じていることを話し合い、情報交換をします。問い合わせは、角幡玲子（6番街、19才双子の息子をもつ）まで。
TEL. (211)0571 / E-mail: kaku314@sea.plala.or.jp
(コアの掲示板もご覧ください。)



サイ・イェングアン ソプラノリサイタル

Baytown Classic Vol.5

(ベイタウン・コア開館1周年記念コンサート)

ソプラノ：サイ・イェングアン、ピアノ：小森 瑞香

日時：2003年3/23（日）13:30 開場、14:00 開演

入場料：3,500円（全席自由席、ベイタウン内各店舗で好評発売中）

※未就学児童はご入場できません

お問い合わせ：下川（コミュニティコア研究会
TEL043-211-0472）

※コンサートの収益金は全額、音楽ホールに導入されるコンサートピアノ「ファツィオリ」購入資金に当てられます。

フジテレビ跡地に公団住宅

公団は、フジテレビ跡地に建設した新規賃貸住宅「河田町コンフォガーデン」で1/23～2/3(月)までの期間、入居者募集をしました。フジテレビ跡地は、1997年に公団が2.6ヘクタールを買い取り、41階建ての超高層を含め4棟の賃貸住宅を供給する予定となっています。今回の募集は超高層の一部で、平均家賃は22万円となっています。この他、超高層の31階から41階は公団から民間ディベロッパーに貸し、賃貸住宅になる予定です。

立地が都営新宿線曙橋から徒歩4分と大変便利でありながら、教育施設や明治・大正期の文学にまつわる史跡なども数多いという場所柄、人混みや喧騒を忘れられる静けさが特徴です。

そのほか、敷地内に生活支援施設（スーパーマーケット、クリニック、デイケアセンター、民間保育施設）があるだけでなく、管理サービス事務所では窓口案内のほか、コピー・ファックス・宅配取次ぎサービス、入居者の事故・病気等に備えた緊急対応サービスなどを予定しており大変住みやすい環境を持った住宅となっています。（注：一部有料です。各事業者の都合により、サービス内容については変更になる場合があります）



都市公団の賃貸住宅

都会の杜・創生
協会人を発す社・河田町コンフォガーデン



都市公団

賃貸住宅のお問い合わせは
総合募集センター津田沼案内所
TEL：047-478-3711

公団住宅の駐車場のお問い合わせは
日本総合住生活（株）千葉支店

コア・チェンバーシンガーズ合唱祭（混声合唱発表会）

「コア」を名前に戴くベイタウンの混声合唱団がコア開館1周年を記念して行う初の合唱発表会。「フェアリーズ」（12月開催の「サウンド・オブ・ミュージック」にも出演した小学生グループ）と合唱大好きな打瀬中学校生徒有志も友情出演。

曲目：「モルダウの流れ」、「大地讃頌（だいちさんしょう）」他

日時：3/30（日）13:30 開場、14:00 開演 入場無料

場所：ベイタウン・コア 音楽ホール

■突然、成人型アレルギーになって3年め。「年末、いつも具合わるくなるな」と思っていたら、今年はじめて「蕎麦もだめだ」と診断されました（年越し蕎麦に反応していたのです）。そんなアレルギー体質になってから、洗剤や入浴剤のかわりにセラミックスボールを使っています。「粉石鹸を使おう運動」の盛んだった津市（琵琶湖があるから）に住んでいた頃より、「自分の身の痛みを知って」やっと環境のことも真剣に考えるようになりました。記者 # 公園東の街 浜田貴代子 (atmark@pop01.odn.ne.jp)

■知り合いを通じてジェフ市原のサポーターから、蘇我特定地区に新しく建設されるサッカースタジアム（「千葉市総合スポーツ公園」内）の設計変更を要望する署名がまわってきた。屋根が一部しかついていない、4分の1の観戦者が立ち見、オーロラビジョンがついていない、グラウンドと客席が遠い…など、同じ予算で建設された「鹿島スタジアム」に比べ、観戦者や競技者の希望とかけ離れた施設がつけられつつあることへの危惧からである。最近新聞で2万人の署名が集まり、千葉市はサポーターの要望に応えるかたちで基本設計見直しを行う旨、報道された。スーパー防犯灯の配置場所といい、身近なところで市民の声が市政に届いたと実感させられた。
佐藤則子（#3-310/T&F211-0090）

■暖冬か厳冬かの議論もあるようだが、まだ日が昇ってない朝の5時台が我慢できないほど寒いことだけは犬の散歩をしながら実感している。街の早期完成を待ちわびる人が多いのとは裏腹に、わたしなどは人があまり来ない貴重な空間を散歩に活用させてもらっているが、お気に入りの中学周りには犬の糞がいっぱい落ちている。「犬の飼っている人たちは…」と一緒にされたくないのが気が付いたときには片付けるようにしているが、それにしてもマナーの悪さには開口している。

金一剛（#3-220/T&F211-0388/ikkim@cc.e-mansion.com）

■「交通問題」のアンケートにご回答いただいた読者のみなさん、お忙しいところご協力ありがとうございました。世帯数からみれば大した数字ではないかもしれませんが、ひそかに目標にしていた100を超えて、ひとまず安心です。自由記述がほとんどで、しかも多くの方が用紙いっぱい書き込んでくださったので、まとめには時間がかかります。しばしお待ちください。茂木俊輔（#7-305/T&F211-1066/m38032@pp.ij4u.or.jp）

■先月号の編集後記では、「規制賛成派」のコメントを記した私であるが、その後の第2回の準備会議や第2回に参加してみて、考え直させられた。自分たちで、自分たちを律することのできる“特権”を簡単に手放し、官に委ねて良いのか？ また、住民だけでなく、お店や、訪ねてくる人も共存できる“住みやすい街”とはどんな姿であるべきか。もう一度良く考えてみよう。板東司（#1-210/T&F211-0289/tbando@dp.u-netsurf.ne.jp）

■先日打瀬中学校へ行った際、中学の職員室には「卒業生」と書かれた名札のカードが沢山用意されていた。卒業生が学校に来たとき着用するように用意されたもののようだが、名札を用意するほど卒業生の「表敬訪問」は多いのか聞くと、卒業後も生徒の訪問は多く、高校の試験のときなどは特に多くなるとのこと。卒業した中学に気軽に出入りするなど自分の学生時代には考えられないことだ。打瀬の学校には壁がないというハード上の特質もあるだろうが、それ以上に子どもたちの心に学校に対する壁がないのだろう。この子どもたちが社会に出たとき、学校と地域の関係は初めて壁のないものになるのだろう。以上、打瀬中学校の初代新入生が成人したというニュースを聞いての雑感。

松村守康（#10-612/T&F211-6853/mmatz@m2.pbc.ne.jp）

パークタワーからベイタウンを望む

竣工を3月に控え、着々とその姿をみせ始めたベイタウン2番目の超高層棟『幕張パークタワー』。ある晩、その最上部の「帽子」のような部分がぼんやりとライトアップされていた。「あれは何だろう?」。新しい物と高い所が好きなベイタウンニュース記者たちは、さっそくパークタワーの施工者である鹿島建設(株)に協力を頂き、冬晴れのある日、取材を敢行した。【板東】



写真1. パークタワー前面

案内してくれたのは、鹿島建設現地工事事務所の中澤さん。まだ施工中のため、取材陣はヘルメットと軍手を身に付け、さっそくエレベータに。あっという間に地上110mのパークタワー屋上に到着した。

気になっていた、緑の「帽子」の部分は、意匠上の「飾り」であり、裏から見ると単なる鉄骨の組み合わせだ(写真2)。それでも、この高さで強風も吹くため、音鳴りや振動が生じないように、風洞実験等を行い、十分検証



写真2. 「帽子」の正体

したとのこと。ただ「住める」だけでなく、「周りとの景観のマッチングも求められる最近の傾向への対応の苦勞が偲ばれる。ライトアップについては、写真3のようなアップライト

が数箇所に設置されており、これをある日点灯試験したところを記者がたまたま目撃したようだ。ただし、竣工・引渡し後に、夜間常にライトアップするか否かは、パークタワーの管理組合に委ねられるとのこと。ふむ、当然のことだが、記者個人としては管理組合の太っ腹を期待したい。

パークタワーの特徴は、建物中央にH型の「背骨」に相当する鉄筋コンクリートの構造壁(スーパーウォール)を配し、屋上に井桁型の梁(スーパービーム)を設置、これにより「やじろべえ」のように建物全体を支える(押さえつける)、『スーパーRCフレーム構法』にある(図参照)。スーパービームは、オイルダンパーを用いた制震装置(H i D A M)を介してコネクティング柱に接続され、これにより地震や強風の揺れを減少させる仕



写真3. アップライト

組みだ。同構法による先輩マンションとしては、『芝パークタワー』があるそうだ。

屋上からの景観は絶景そのもの。ベイタウン全体が良く見渡せる(写真4)。毎日、こんな景観を目にするのでできる上層階の住人たちがちょっとうらやましく感じられる1日だった。

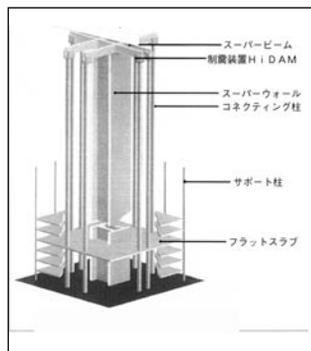


図. スーパーRC構法概念図



写真4. 屋上からベイタウンを望む

こども・まち・がっこう シリーズ Vol.10

打瀬中の初代新入生が成人

今年成人式を迎える子供に“成人式の後、5番街ジャイネパールに集合!!”のメモが届いたのは、年の初め。そう、今年の成人は、ベイタウン誕生の年に打瀬中学校に入学した子供たちなのです。スーツや振袖に身を包んだ姿を眺めながら、ふと、8年前を思い浮かべました。

街はまだ6つの棟と小学校、海のほうに離れて中学校が建っているだけでした。真新しい大きな体育館で行われた最初の入学式は、新入生25名と30名足らずの2、3年生(彼らも2日ほど前に開校式を済ませたばかり)、そして来賓は教育委員会の方と打瀬小学校長だけといった、それは小さなものでした。

しかし学校生活のほうは、歴史も伝統もない白紙の状態の中、自分達で第一歩から創りあげてゆくんだといった気力が、先生方からも生徒達からも感じられました。制服なし、チャイムなしに、親の私のほうも初めは戸惑いましたが、自己管理が多少できるようになったかと気づいたころには卒業。それぞれの道を歩みだしました。卒業時には52名に仲間が増えておりました。気持ちの優しい、仲の良い中学生でした。

その子供達が20才! 8年間の成長の大きさには目を見張るものがあります。あどけない幼顔が、いまや逞しくまた美しくなっていて…。あつかましいと思いつつも会場にいて感想を聞いてみました。一様に「久しぶりに皆に会えてうれしい」が開口一番。「20歳になって周囲から大人として見られるので、きちんとしたい」、「分別のついた大人になりたい」、「振袖を着てうれしい。日本人っていいなと思った」など。にぎやかな会場を後にしながら、親としての務めをひとつ終えた—そんな気持ちになりました。

社会人としてのスタートラインについての皆さんに、私からも一言。自分自身の人生を素晴らしいものにする努力を惜しまずに。成人おめでとう。

【西田のリ子 (P5番街)】

